

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	湯浅町家庭教育支援チーム (呼称: とらいあぐる) URL : http://yuasa.ed.jp/syogai/syogai/triangle/triangle.html
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	湯浅町教育委員会(湯浅町役場)
活動範囲	湯浅町全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (子ども・子育て支援事業)
組織体制	14 人 SSW1人、元保育士1人、元教員(保護司)1人、民生委員1人、母子推進委員1人、管理栄養士1人、ボランティア活動員2名、保護者1人、地域住民5人
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌作成(保育所・幼稚園・小中学校家庭用、町内全住民用) ・情報誌による啓発活動(子育てアドバイスや虐待防止啓発、地域での子どもの見守りの啓発) ・小中学校の子ども家庭の全戸家庭訪問(就学前家庭への拡大予定) ・全戸訪問での相談対応や見守り支援 ・未然防止のための情報収集 ・講座や講演の実施により親子のふれあいや、保護者どうし地域住民どうし、地域住民と子育て家庭のつながりづくりや居場所づくりの提供 ・定例会議などを通して活動の振り返り 
活動を通して感じていること (成果、課題など)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌を通して、支援員と保護者・地域の人との話題やコミュニケーションの一つとして浸透化して来ている ・最近では保護者から支援員に対してねぎらいや感謝の言葉が聞かれるようになって来た。 ・地域住民からは、積極的に子どもの見守りに協力できないかと言う声も寄せられ、今後どのような形で地域を巻きこんだ子育て環境にしていけるかについて検討の必要があると思われる ・孤立傾向の家庭は集団の中には出てこない(出てこれない)。無理に保護者や地域とのつながりを考えるのではなく、個別訪問での支援強化と継続支援が必要だと感じる